

C O N T E N T S

School of Engineering, Kyushu University
2024 CAMPUS GUIDE

受験生のみなさんへ Welcome Message	03
学科一覧・入学から卒業までの流れ	05
電気情報工学科	06
材料工学科	07
応用化学科	08
化学工学科	09
融合基礎工学科	10
機械工学科	11
航空宇宙工学科	12
量子物理工学科	13
船舶海洋工学科	14
地球資源システム工学科	15
土木工学科	16
建築学科	17
座談会(若手教員と学生が語るこれからの研究と将来の夢) ..	18
就職先リスト	21
OB・OGメッセージ	23
サークル紹介／留学プログラム	24
伊都キャンパス周辺	25
入試情報	26

九州大学工学部で世界に羽ばたく 専門力を培いませんか

九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長

山本 元司

100年の歴史と伝統、 そして新キャンパスから未来へ

1911年(明治44年)に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。100年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス(福岡市東区)に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャンパス移転構想の第一陣として2005年(平成17年)10月から伊都キャンパス(福岡市西区)へ移転を開始し、2007年(平成19年)3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。



1914年(大正3年)九州帝国大学工科大学正面



箱崎キャンパス:旧工学部本館

九州帝国大学工学部銘板

1919年(大正8年)前身である工科大学が工学部と改称された際に製作されたと考えられる銘板。戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント(記念碑)を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。



九州大学工学部は2021年(令和3年)に学科改組と入試制度改革を行い、専門性に合わせて複数の学科を束ねて構成した5つの学科群(I~V群)に入学後の1年間の学びの後に専門を決定できるVI群を加え、従来の筆記試験により学科群ごとに選抜を行う一般選抜、および各学科が修学に必要とする適性を学力だけでなく意欲や関心なども含めて総合的に判断して学科ごとに選抜を行う総合型選抜による入試制度を開始しました。また、学部の学士課程4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを新たに整備し、最先端の情報技術教育を取り込み、目覚ましいスピードで進展する技術分野の高度化や様々な変化に対応できる人材を育成する体制を整えました。

九州大学では「総合知で社会変革を牽引する大学」を目指してVISION2030を策定し、教育、研究、社会貢献、国際協働などにおいて、さらなる飛躍に向けて教職員が努力しています。

また、九州大学は2021年11月に文部科学省より「指定国立大学法人」として指定を受け、世界の大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。

さて、九州大学は1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として福岡市東区箱崎の地に創立され、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至っています。この間、西日本の拠点大学として先導的な教育と研究を担い、これまで多数の卒業生を輩出してきました。卒業生の多くは国内外で先導的、指導的な立場として活躍されてきています。九州大学工学部は、今後も引き続き社会に貢献する人材、国際的な立場で活躍し世界を主導できる人材を、責任を持って輩出し続ける所存です。

九州大学工学部は、カリキュラムで示されている教育や研究室での先端的な研究活動を行っていることはもちろん、学生の自主的なものづくり活動のための創造工房への支援を行うとともに、北米と豪州への学生派遣・研修プログラム、英語授業のみでカリキュラムが構成されている学部国際コース、起業精神を育むアントレプレナーシップ教育プログラムなど、学生の自主的な学びを支援する多くのプログラムを備えています。さらに九州大学は、総合大学として様々な学問分野からなる教職員とそれらを学ぶ学生が学内外で多くの活動を実践しており、多様な学びと経験ができる可能性が豊富にあります。九州大学工学部に入学し、さらなる飛躍のチャンスを掴みましょう。



福岡市を一望できる工学部棟からの眺めが気に入っています。天気がいい日には、福岡タワーやマリノアシティの観覧車などを見ることができ、理学部や工学部の食堂からはその景色を見ながら食事をすることができます。

**福岡市を一望できる
伊都キャンパス**

肥田 琉之心さん
船舶海洋工学科 4年

それぞれの先生方に専門分野があり、それについての質問はほぼ全て答えていただけるので勉強中の疑問はほとんどの場合解決します。日本の学生ともあえて英語で話されることがあり、専門性をより高めることができます。

**専門分野の疑問は
すべて解決**

木下 真尋さん
土木工学科 4年

**何かに挑戦する
人たちがいっぱい**

山根 春佳さん
土木工学科 4年

伊都キャンパスが位置する糸島は、何かに挑戦する面白い人たちであふれています。食、居場所づくり、古民家DIYなどいろいろなテーマで活動している学生や大人がたくさんいます。そんな人たちと交流をしやすいのが魅力です。



筑紫キャンパスの魅力はアクセスの良さです。快速列車が停車する大野城駅が目の前で、博多駅に約10分で行けます。西鉄天神大牟田線も通っているので天神へのアクセスも抜群です。キャンパスがそれほど広くないのでキャンパス内の移動も楽です。

**アクセスが良い
筑紫キャンパス**

池上 悠登さん
融合基礎工学科 4年

風洞とは人工的に風を作る装置のことで、航空機や宇宙往還機、ロケットなどの周りの流れや作用する空気力を計測することができます。特に高速風洞はマッハ3.5(時速4000km)までの風を発生させることが可能な大型設備です。

**国内でも珍しい
大型風洞設備**

島内 智希さん
工学府航空宇宙工学専攻 修士1年

透過型電子顕微鏡は、試料の内部を観察できる高感度な顕微鏡です。非常に強力な測定手段であると同時にとても高価なものが、そうした設備が九州大学内に複数あって、研究に活用できるのがすごいと思います。

**透過型電子顕微が
すごい！**

井上 魅紅さん
工学府応用化学専攻 修士2年



全面がガラスの建物で、とても開放感があります。日替わり定食でたまにある、パン粉焼きがおすすめです。鶏肉にスパイスの入ったパン粉をまぶしたものを焼いた料理ですが、焼いているので、パン粉がサクサクで美味しいです。

**開放感抜群の
「ビッグスカイ」**

樋口 夕季乃さん
人間環境学府
空間システム専攻 修士1年

パスタなど、ほかの食堂にはないメニューがあり、どの料理もおいしいです。食事だけでなく、空いた時間にゆっくりくつろげるカフェとして利用している人も多います。外の景色を見ながらゆったり過ごせるのが好きなポイントです。

**工学部生のオアシス
「E-Cafe」**

浦川 星奈さん
工学府量子物理学専攻 修士2年



硬式野球部に参加していますが、異なる学部の人と同じ目標に向かって長い時間を過ごすことで自分の価値観を広げることができます。同じ競技でも部によって活動内容や特色が異なるため、自分に適した環境で新しいことに挑戦できるのも、大学の部活動特有の魅力の一つです。

**大学での
部活動の魅力**

尾山 幹大さん
システム情報学府
情報理工学専攻 修士1年



宇宙産業というのはまだまだ無限の可能性を秘めた分野であり、私たちの知らないことも多く存在するとても夢のある分野です。実用化の可能性もある研究に携われるというのはとても有意義なことだと思います。

**宇宙機ダイナミクス
研究室**

河野 結衣さん
航空宇宙工学科 4年



中央図書館は工学部から少し離れていますが、蔵書の数や種類が豊富に訪れるたびに凄みを実感します。趣味で写真雑誌を探しに行ったのですが、60年以上前のものが蔵書されていて大変驚きました。

**凄みを感じる
中央図書館**

角田 雅樹さん
工学府機械工学専攻 修士1年



主に静かに勉強したいときに理系図書館を多く使用しました。仲間同士で声を出してディスカッションができる部屋も用意されており、みんなで意見を交換しながら勉強するときなどは非常に役立つと思います。

**ディスカッションもできる
理系図書館**

大元 紳ノ介さん
工学府化学工学専攻 修士1年



Welcome message

先輩からのメッセージ

九州大学工学系の学部・専攻で学ぶ先輩たちが、キャンパスライフの魅力について語ります。
学びの環境はもちろんのこと、九州大学ならではの 楽しさを知ってください。



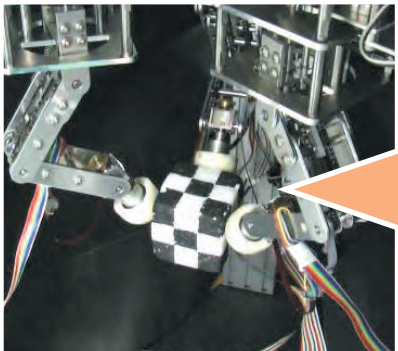
**シャトルバスで
雨の移動も助かる**

小野 彩奈さん
工学府材料工学専攻 修士1年

日本最大級の敷地面積を誇るキャンパスで、食堂も多くオリジナルメニューなどもあります。自然に囲まれており、春には桜、秋には紅葉も楽しめます。キャンパス内は無料のシャトルバスなどもあるので雨の日の移動が助かります。

**Acaberaサークルで
楽しく活動**

泉 優花さん
応用化学科 4年



「ヒューマンセンタードロボティクス研究室」で答えがでない課題に取り組んでいます。目的に対して、学んできた知識や技術を活かして自分の頭で考え、試行錯誤し、結果を出せた時の達成感やうれしさは格別です。

**結果を出せた時の
達成感は格別**

常盤 俊介さん
工学府機械工学専攻 修士1年



工作室には多くの工作機械と熟練の職員さんがいらっしゃって精密で複雑な加工が必要なものでも短時間で仕上げてくださいます。職員の方からは、図面の書き方や材料加工に関する知識を聞くことができ、とても勉強になります。

**工作室の職員さんの
熟練度がすごい**

十河 優太さん
工学府化学工学専攻 修士2年



学習や研究でほしいと思った内容の本が揃っていて、もし探している本がなかったとしても要望を出すことで入荷してもらうことができます。集中して作業できる空間や友人と話し合えるスペースがあるのも素晴らしいです。

**蔵書もスペースも
充実した筑紫図書館**

岩井 宏樹さん
融合基礎工学科 4年

私の研究室にある計算機クラスターは、普通のコンピュータでは時間のかかる計算をより早く終わらせることができます。計算科学には欠かせない設備を一研究室が保有しているというのはすごいと感じます。

**計算機クラスターを
一研究室が保有**

田村 優貴さん
量子物理学工学科 4年

**他ではできない
九大フィルの経験**

中野 基貴さん
システム情報科学府
電気電子工学専攻 修士2年

個性資源の回収方法、環境修復、日本の地下空間の利用に関して研究を行っており、海外フィールド調査や数値解析等を行います。研究室には留学生がたくさんいて、一緒に実験をしたり、解析をしたりするため、とても仲良くなれます。

**私たちの生活を
助ける研究**

藤井 花帆さん
地球資源システム工学科 4年

研究室の仲間とは和気あいあい

山本 紗愛さん
工学府共同資源工学専攻 修士2年



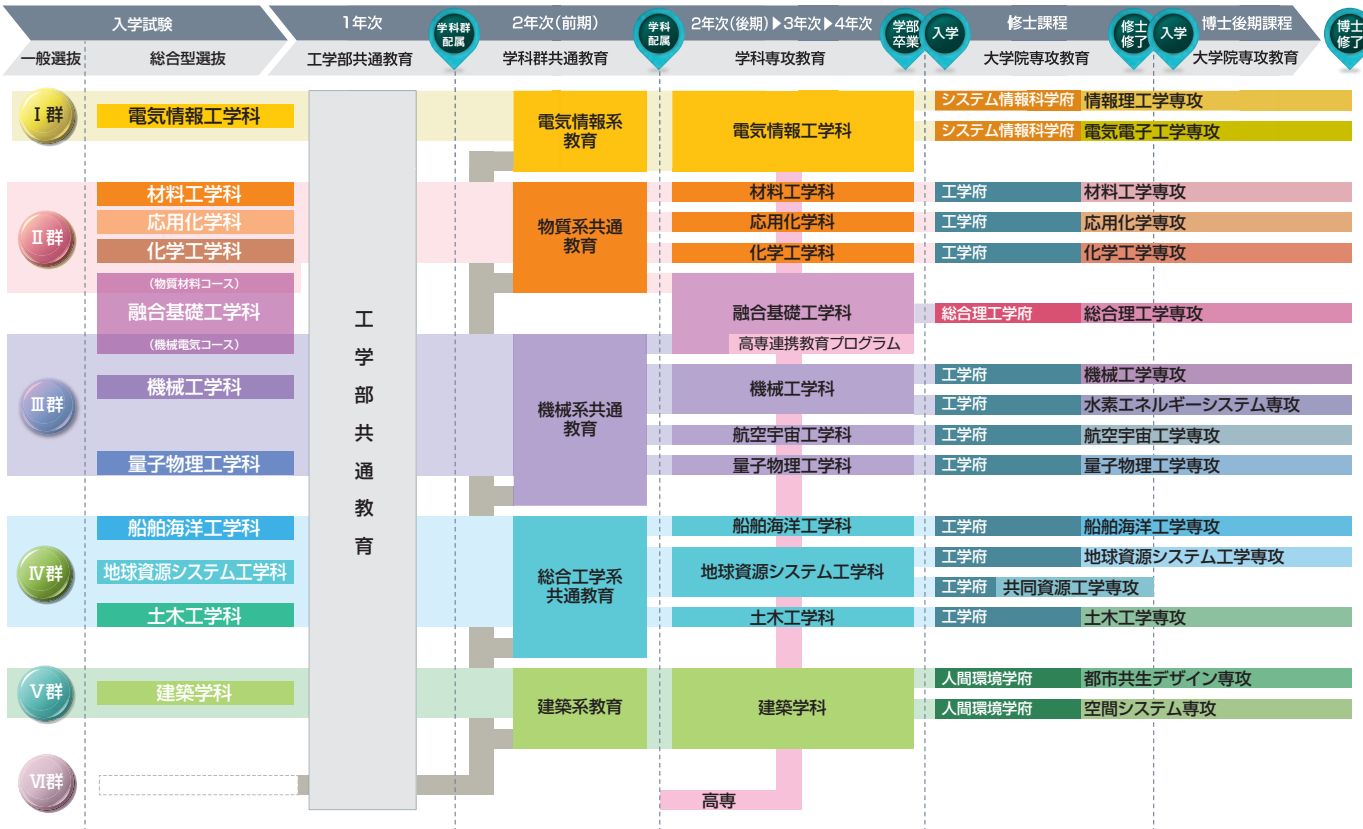
地球環境に優しい技術の開発を目的とした都市鉱山廃棄物からの有価金属のリサイクル回収に関する研究を行っています。研究室では毎日みんなが集まり、休みの日にはドライブや海に行くなど仲良く和気あいあいとしています。

**KYUSHU UNIVERSITY
SCHOOL OF ENGINEERING
九州大学工学部**



群	学科	一般選抜		総合型選抜	定員合計	教育内容	掲載ページ
		前期日程	後期日程				
I	電気情報工学科	98	17	8	123	電気情報工学を専門として新しい技術開発を行い、それを通して安全・安心、持続可能で豊かな社会に貢献する人材を、計算機工学コース、電子通信工学コース、電気電子工学コースの3つのコースを設けて育成します。	P06
II	材料工学科	123	21	3	43	材料工学を専門とし、物質を構成する原子や電子の微視的な振る舞いを理解して、材料の特性が発現する原理と概念に基づいた新材料の開発により持続可能な社会の発展に寄与する人材を育成します。	P07
	応用化学科			4	58	化学を専門とし、物質の構造・性質・反応を原子・分子レベルで理解したうえで、原子・分子を設計・操作して新物質の合成や物質の変換およびプロセスの開発などを行って持続可能な社会に貢献できる人材を育成します。	P08
	化学工学科			2	31	化学工学を専門とし、環境・エネルギー、新規機能性材料、バイオテクノロジー・高度先進医療、生産プロセスなどの分野において、地球環境との調和と人類の福祉に貢献できる人材を育成します。	P09
	融合基礎工学科			2 2	46	物質科学と材料工学を融合した物質・材料工学分野、または機械工学と電気電子工学を融合した機械・電気電子工学分野を主たる専門とし、情報科学を副専門としながら問題解決型学習に重きを置いた教育により、環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑な課題に対応し、解決することができる工学系π型人材を育成します。	P10
III	機械工学科	146	25	7	108	機械工学を専門とし、主として物理法則の基礎理論を理解して、社会のニーズに応えるため、制約条件の下で環境への影響を考慮しながら機器やシステムを設計製作し、あらゆるモノづくりを支える人材を育成します。	P11
	航空宇宙工学科			0	21	航空宇宙工学を専門とし、力学を基礎とした工学理論や、航空宇宙機開発特有のシステム工学に関連する基礎知識を有し、新しい航空宇宙機の開発や運用環境拡大によって生ずる課題を発見・解決できる人材を育成します。	P12
	量子物理工学科			2	30	応用物理、量子科学、原子核工学を専門とし、新しい量子現象の観察やその応用、量子ビームの開発と医療・生命分野などへの応用、新規材料開発、エネルギー開発、環境保全等へ貢献できる人材を育成します。	P13
IV	船舶海洋工学科	92	16	5	29	船舶工学、海洋工学を専門とし、グローバルな価値観に基づいて海洋と人類の共生への貢献を目的として、造船技術の継承・発展ならびに持続的な海洋開発を担う総合工学的な広い視野を持った人材を育成します。	P14
	地球資源システム工学科			2	28	資源工学を専門とし、国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する様々な技術の開発などを担う人材を育成します。	P15
	土木工学科			4	62	土木工学、環境工学を専門とし、構造物の設計・施工から、環境の保全、災害の防止に関する様々な知識を有して、自然や文化に配慮しながら安全・安心な国土を整備するとともに、国土の諸問題を解決できる人材を育成します。	P16
V	建築学科	46	0	6	52	建築学を専門とし、自身の知識と思考力で課題の本質を読み解き、変化する社会情勢に応じた環境のデザイン力と理論に裏打ちされた技術・技能により都市・建築に関わる課題の解決策を導き出せる人材を育成します。	P17
VI	—	124	23	—	147		

入学から卒業・修了までの流れ



実空間とVR空間を組み合わせた共同作業支援の研究

I 群

電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Computer Science

HPはこちら▶



動画はこちら▶



論理と物理を基に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心を創る技術者と研究者の入口

この学科のポイント！

私たちは、現在、人工知能と人間が共創する新たなデジタル社会の創出に向かって突き進んでいます。未来の社会では、人工知能、メタバース、ロボティクス、量子コンピューティング、スマートモビリティなどの魅力的な技術が融合した新たな生活様式を提供していることでしょう。電気情報工学科では、これらの技術の基礎となる、計算機、通信ネットワーク、電子材料・デバイス、電気エネルギーについて学びます。電気情報工学科では、数学、物理、データサイエンスの基礎を修得した後、計算機工学、電子通信工学、電気電子工学の3コースに分かれてそれぞれの専門性を深めて行きます。皆さんも電気情報工学科で学び、未来への扉を開いてみませんか。



未来の動きを可視化してロボットと安全に共生



クリーンルームでの次世代半導体技術の研究

私の研究内容

超伝導工学研究室

中野 基貴さん
システム情報科学府 電気電子工学専攻 修士課程2年
愛知県高蔵寺高等学校出身



超伝導技術を用いた電動航空機の実現に向け、主に超伝導機器や超伝導線材などに関する研究を行っています。電気抵抗がほぼゼロで大電流を流すことができるといった超伝導の特性を活かし、CO₂を排出しない推進システムの実現を目指しています。班によってモーターや変圧器など、研究対象はさまざまですが、いずれにしても、超伝導技術に深く関わっていけるのがおもしろいところだと思います。
昔から鉄道が好きだったこともあり、将来は学んできた知識を活かして何かしらの形で鉄道事業に携わりたいと考えています。

Ⅱ 群

材料工学科

Department of Materials

HPはこちら▶



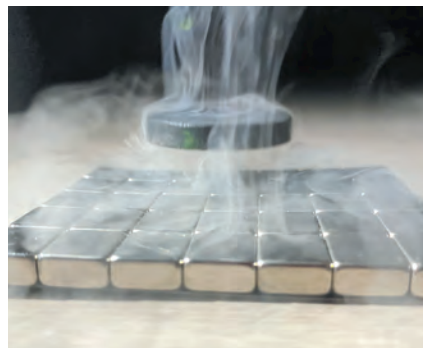
動画はこちら▶



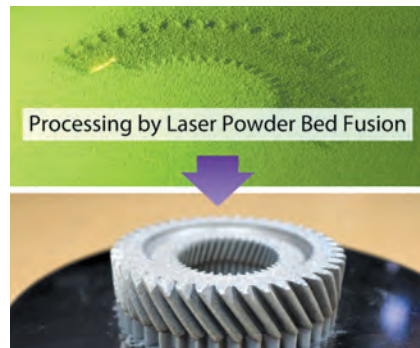
物質の理解、原料からの素材創出、その機能解明を通じて新材料を生み出す科学技術を学ぶ

この学科のポイント！

材料の進化と共に人類の発展が進んできました。自動車社会や航空機産業、情報化社会において、鉄鋼やジュラルミン、半導体などの材料が重要な役割を果たしてきました。これらの材料は、わずかに118個の元素から無限の組み合わせによって生み出され、材料工学はそれらを基盤にしています。材料工学科では、冶金物理化学、構造用金属科学、機能材料科学などを学び、材料の創出からデザイン、加工までを理解し、実習を通じて技能を磨きます。卒業研究では、最先端の材料解析や計算科学を駆使して新たな材料の開発に挑戦することができます。材料工学科の卒業生は、持続可能な技術革新を通じて社会貢献を果たす科学技術者として活躍しています。



完全反磁性効果により磁気浮上する超伝導体



金属粉末にレーザーを照射し造形する金属3Dプリンティング

私の研究内容

反応制御学研究室

小野 彩奈さん

工学府 材料工学専攻 修士課程 1 年
大分県大分高等学校出身

工学部では実社会の問題解決や技術革新などに近い実践的で幅広い知識を得られるため、この学部を選びました。なかでも材料工学は身近な材料について学ぶため、自分の学びと社会との関わりがわかりやすいことが魅力だと感じています。

私たちの研究室では、脱炭素社会に向けて鉄鋼業における二酸化炭素排出量削減を目的として、水素の製鉄利用や、カーボンニュートラルなバイオマス利用などを研究しています。将来は鉄鋼業メーカーに就職し、鉄鋼業のカーボンニュートラル化に貢献したいと考えています。

Ⅱ 群

応用化学科

Department of Applied Chemistry

HPはこちら▶



動画はこちら▶



化学で人々の暮らしを豊かにし、持続可能な社会の構築に資する学問を追究します

この学科のポイント！

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。様々な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素材、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。



X線回折装置を用いたセラミックスの結晶構造解析



有機化合物試料の光学測定

私の研究内容

応用無機化学研究室

泉 優花さん

工学部 応用化学科 4 年
鹿児島県大島高等学校出身

私は「層状ペロブスカイト」という物質に関する研究を行っています。層状ペロブスカイト型酸フッ化物から電気化学的にアニオンを出し入れすることで、従来の方法では合成できない新しい複合アニオン化合物を作ることを目指しています。この研究は、革新的な電子・エネルギーデバイスの創出に繋がるものと期待しています。物質の合成から始まり、イオンの脱挿入ができていかどうか、X線回折などを利用して確認しながら研究を進めています。私の所属する研究室では、全てが固体材料で構成された「全固体電池」についての研究を行っている人もいます。



手指リハビリテーションのために研究開発されたロボットSMOVE

Ⅲ群

機械工学科

Department of Mechanical Engineering

HPはこちら▶



動画はこちら▶



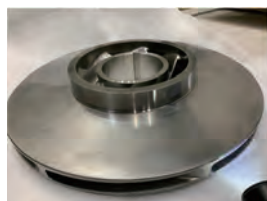
あらゆるアイデアや技術を形あるものにする機械技術者と研究者の入口

この学科のポイント！

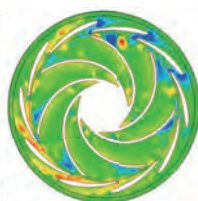
機械工学は、スマートフォン、コンピュータ、家電製品、空調機、自動車、飛行機などの身近なモノ、ロボット、医療器械、建設機械、工作機械、食品機械など専門分野で活躍するモノ、発電所や燃料電池などエネルギーを供給するためのモノやシステム、使われている部品や素材など、あらゆるモノを作るための基盤となる学問です。具体的には材料力学、機械力学、流体力学、熱力学、燃焼、設計法、制御、加工技術などの基礎知識と概念を学修します。さらに、生体工学や水素利用技術など、生物・医療やエネルギー・材料など従来の枠を越えた分野も学ぶことができ、新しい時代を自ら切り拓くことのできる技術者や研究者の基礎を築くことができます。



バイオライボロジー研究で支える人工関節の開発



過心羽根車と流れの数値シミュレーション



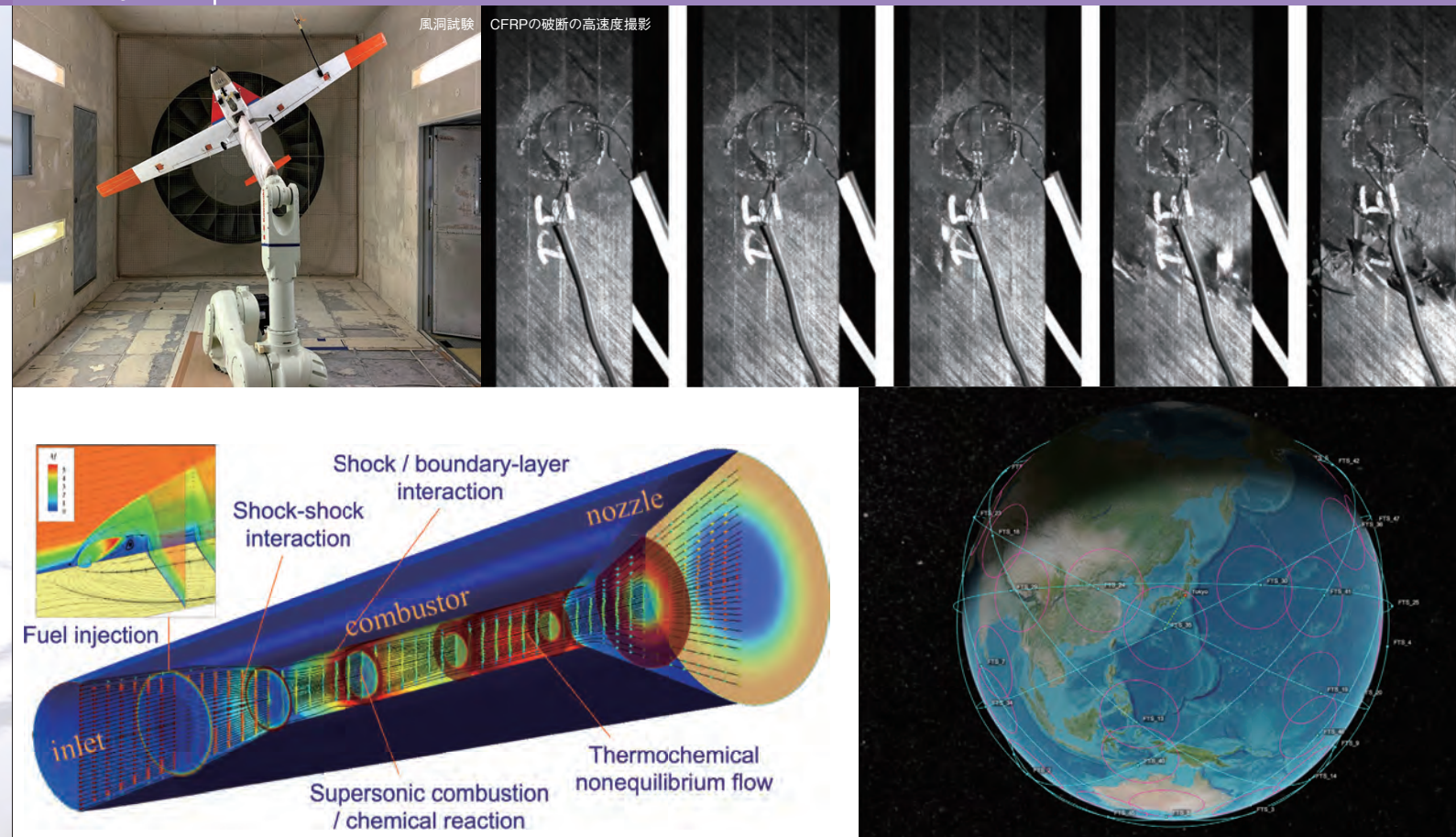
私の研究内容

ヒューマンセントードロボティクス研究室

常盤 俊介さん

工学府 機械工学専攻 修士課程 1 年
福岡県北九州工業高等学校出身

ロボットハンドによる把持の制御手法に関する研究を行っています。現在、工場の製造ラインなどで活躍しているハンドの多くは、形状などの幾何学的特性や柔らかさなどの力学的特性が既知の物体に特化していることが多いです。そのため把持の度に特性が異なる食品や農作物などへの対応が難しく、こうした対象物を扱う業界では自動化の進展が遅れています。私の研究では近接覚センサと呼ばれる、ロボットの近傍情報を取得可能なセンサを用いて、把持の汎用性を高めるための研究を行っています。将来はファクトリー・オートメーションに関する業務に携わりたいです。



Ⅲ群

航空宇宙工学科

Department of Aeronautics and Astronautics

HPはこちら▶



動画はこちら▶



最先端の知識と技術を結集し、空と宇宙のフロンティアを切り拓く夢へ踏み出す第一歩

この学科のポイント！

日本の航空宇宙開発は近年急速に進展しており、はやぶさ1・2号機による小惑星探査は記憶に新しく、次期基幹ロケットH3や月や火星を目指す深宇宙ミッションも進行しています。また、超音速旅客機や電動航空機といった次世代モビリティの開発も活発に進められています。

本学科は、日本人初の国際宇宙ステーション船長となった宇宙飛行士の若田光一さんをはじめ、宇宙開発や航空産業の第一線で活躍する人材を数多く輩出しています。また、JAXAや企業、海外との共同研究も盛んに行っており、研究者・技術者としての道を踏み出すには最適の場所です。皆さんも航空宇宙工学科で学び、空や宇宙の夢を追求し、現実に変えてみませんか？



アーケ加熱風洞による耐熱試験



マルチコプタの自律飛行

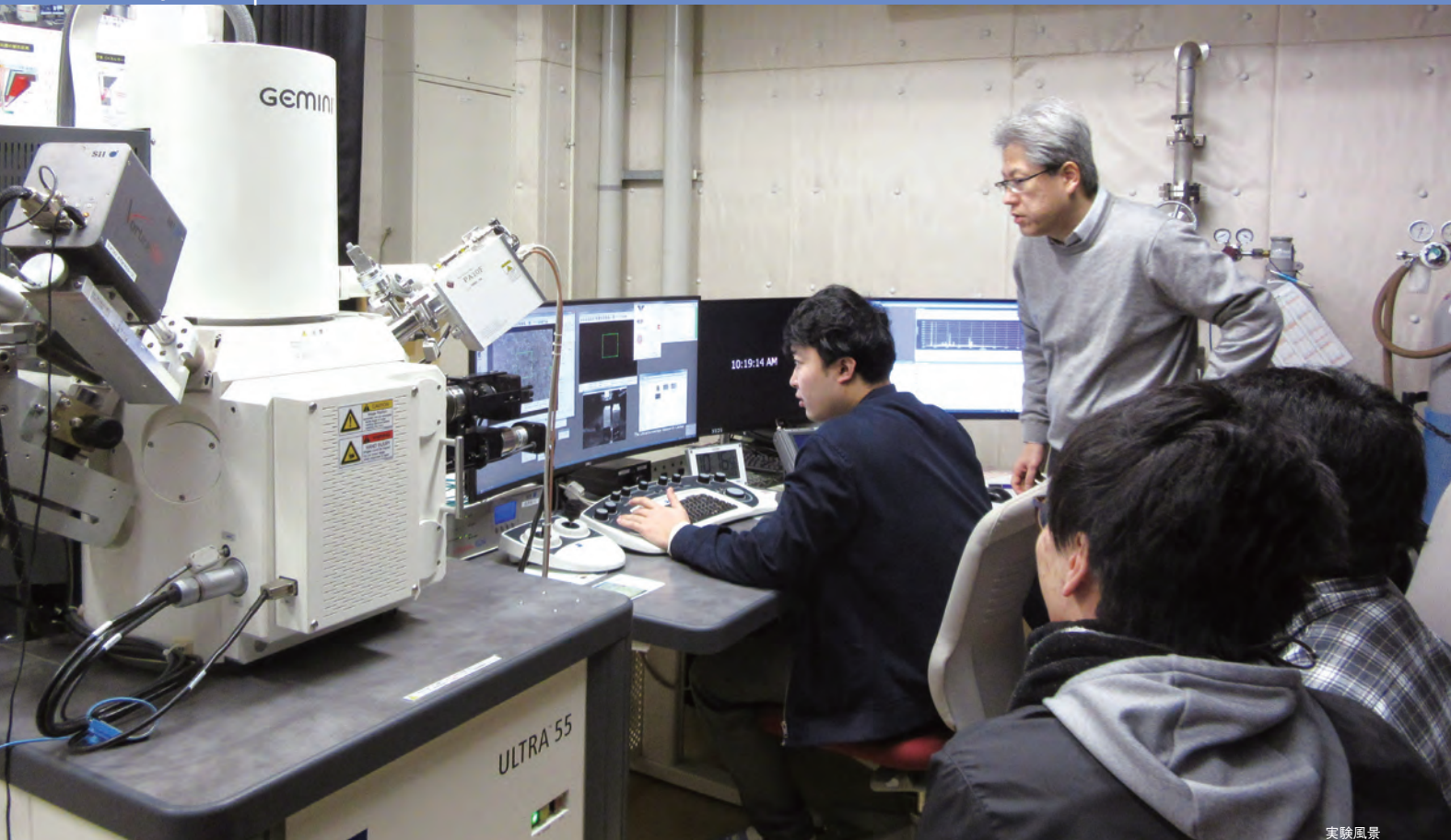
私の研究内容

誘導・制御工学研究室

島内 智希さん

工学府 航空宇宙工学専攻 修士課程 1 年
福岡県筑紫丘高等学校出身

宇宙機の軌道設計や姿勢制御に関する研究を行っています。人工衛星の軌道設計とは、遂行すべき宇宙ミッションに応じて、宇宙機が目標の天体あるいは目標の軌道に到達するまでの移動ルートを決定することです。この軌道設計では、燃料消費を抑えられる効率が良いルートで宇宙空間を移動できることが重要になります。また、複数の天体が及ぼす引力や太陽光の圧力などの影響で宇宙機が複雑な運動を示すため、軌道設計や姿勢制御は宇宙ミッションの実現には不可欠な要素です。これまでに無い新しい理論や概念を構築することで、宇宙フロンティアで活躍するシステムの開発を目指しています。



実験風景

Ⅲ群

量子物理工学科

Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering

HPはこちら▶



動画はこちら▶



目に見えないミクロな物理現象の解明と応用で、人類社会の発展に貢献する技術者と研究者の入口

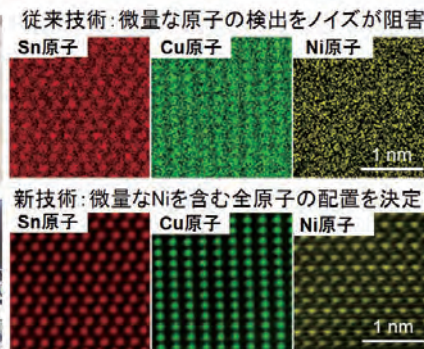
この学科のポイント！

近代物理学の新しい学問体系である量子力学と相対性理論の出現はそれまでの物質や時間・空間に対する認識を一新させました。これにより原子核、原子、分子、電子などのミクロな実体から、その集合体である物質、さらには宇宙という巨大な世界までを体系的に理解できるようになりました。

量子物理工学科では量子力学や相対性理論とともに力学、電磁気学、熱力学、統計力学などの現代物理学を構成する基礎的学問を系統的に学修します。その上で応用物理学、量子ビーム、加速器工学、原子核/原子力工学などについても学んでいき、新しい時代の科学と工学を自ら切り拓いていく力強い技術者や研究者を育成します。



超高圧電子顕微鏡と世界最高水準の計測感度をもった分析電子顕微鏡



私の研究内容

量子計算科学研究室

田村 優貴さん

工学部 量子物理工学科 4 年
福岡県小倉東高等学校出身

量子コンピュータの計算能力は従来のコンピュータを遙かに上回ると期待されており世界中で開発が進められています。その性能は、量子ビット数と量子計算のための量子アルゴリズムに左右されます。研究室では量子力学の原理から電子状態を計算する「第一原理計算」による物性予測と、第一原理計算では困難な計算対象である量子多体系のための量子アルゴリズム開発がなされています。私の研究テーマは、量子多体系である超伝導体の超伝導転移温度の計算予測です。将来は、量子多体系の量子アルゴリズムを活用し、研究者として新奇材料の開発や元素の魅力を伝える活動をしたいです。



浮体式洋上風力発電施設

Ⅳ群

船舶海洋工学科

Department of Naval Architecture and Ocean Engineering

HPはこちら▶



動画はこちら▶



持続的な海洋開発を担い、海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉

この学科のポイント！

国土を海に囲まれた日本の発展には、社会・生活を支えるエネルギー・資源の調達や輸出のための海上輸送、資源開発など海洋の有効利用が必要です。本学科は構造・流体・材料・制御等の基礎的な分野だけでなく、巨大な船や海洋構造物を開発・設計・生産する総合工学を学ぶ特色あるカリキュラムを有します。

実地で学ぶ工場の見学・実習、船一隻を設計する演習など多面的に学びます。コンピュータを使ったプログラミング・シミュレーション・設計・AIなどIT教育も豊富です。

卒業生への評価は高く、求人数は多く、輸送機器・重工業の他、多様な企業や研究機関に就職しています。



船舶運動性能試験水槽における操縦性能試験



高速回流水槽を使った船体抵抗試験

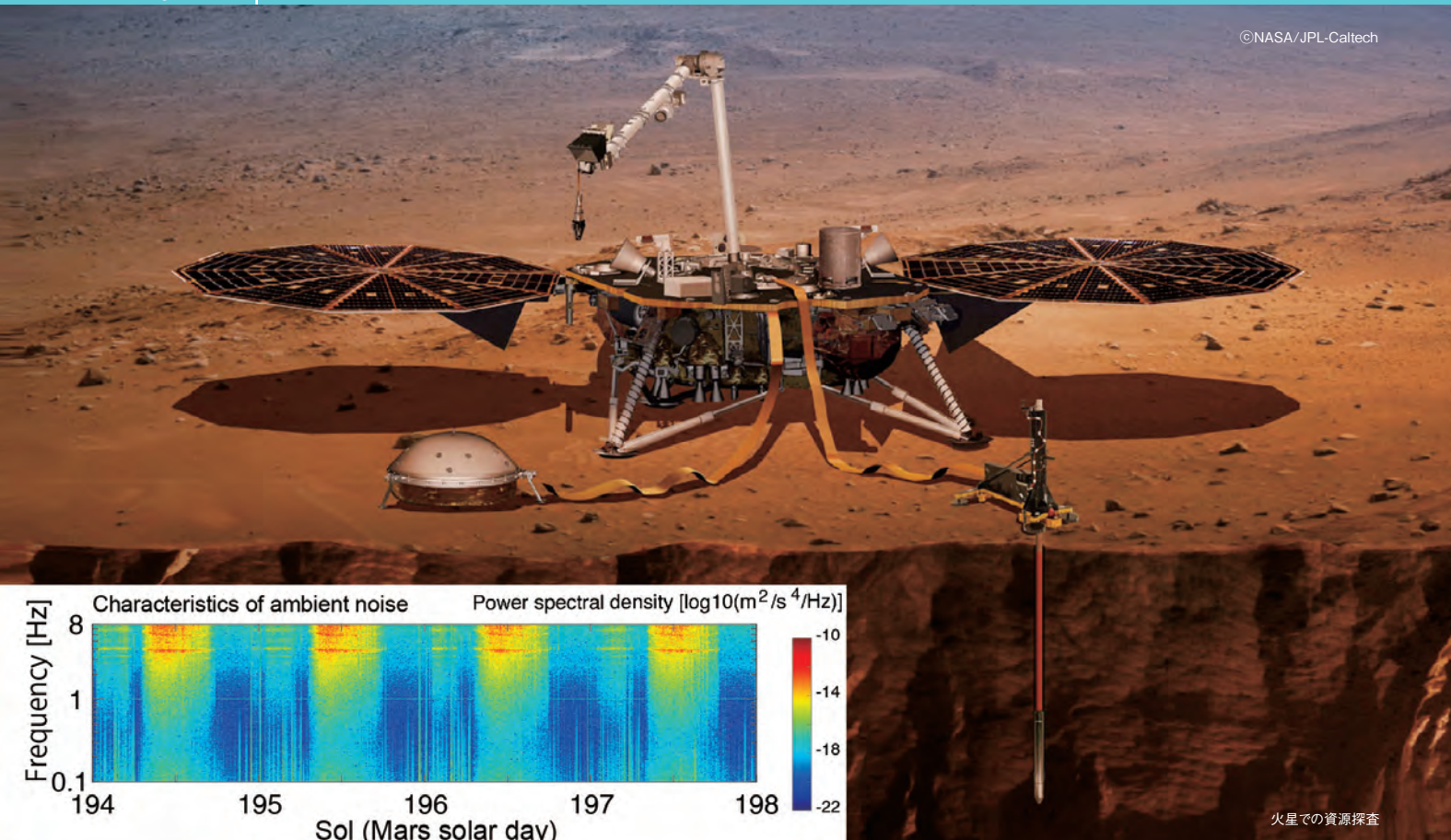
私の研究内容

船舶海洋流体工学研究室

吉岡 誉顕さん

工学部 船舶海洋工学専攻 修士課程 1 年
福岡県明善高等学校出身

私はプロペラと舵の周りの水の流れを可視化して、実験的にどのような流れがあるのかを解析するという研究を行っています。船は大きく船体、舵、プロペラの3要素に分けて考えることができ、これらの要素それぞれ、または組み合わせについて、どのような流れが発生しているのか、流れがどのような力を船に及ぼすのかということについて、実験及び理論的な解析を行い、より抵抗が少なく効率の良い推進性能が向上する付加物の開発や性能検証なども行っています。社会から海洋工学に対する要請も大きくなっているので、大学で得た専門分野を活かして、課題の解決につなげたいです。



IV群

地球資源システム工学科

Department of Earth Resources Engineering

HPはこちら▶



動画はこちら▶



地球規模の資源・エネルギー・環境問題の解決に向けて世界トップレベルの教育・研究拠点で学ぶ

この学科のポイント！

地球資源システム工学科では、金属鉱物、石油・天然ガス、石炭、地熱など、私たちの生活を支える資源の成因、探査、開発、採掘、処理、リサイクルを幅広く学び、それらの新技術を研究できます。また、CO₂回収・利用・地中貯留や石炭／石油からのブルー水素製造技術、さらには深海底（メタンハイドレートやレアメタル）および月や火星（水やレゴリス）など、人類のフロンティアにおける資源探査・開発技術も研究できます。3年次の国内外インターンシップでは、スケールの大きな資源開発の醍醐味を体感できます。留学生との交流や海外でのフィールドワークなどを通じて言語力や国際性を伸ばし、世界で活躍するための素養を身に付けられます。



国際フィールド調査 チェコ国Jeronym銀鉱山跡



火口の噴気活動調査

私の研究内容

岩盤・開発機械システム工学研究室

藤井 花帆さん

工学部 地球資源システム工学科 4年
愛知県豊田工業高等学校出身

私は高専で土木分野を専攻し、高専3年次に「都市鉱山」と「資源循環」に興味を持ちました。さまざまな分野を学んでもっと自分自身の視野を広げたいと考えて九州大学に編入しました。現在は地下インフラ(地下鉄、下水道)埋設において、空間の利用効率を上げるために使用されるボックスカルバートの耐久性評価をしています。

将来は、土木と資源の2つの分野に精通した技術者になりたいと考えています。私自身は、生活を支える部分で社会に貢献したいと考えているため、生活を支える分野の仕事に携わることを目指しています。



IV群

土木工学科

Department of Civil Engineering

HPはこちら▶



動画はこちら▶



サステナブルで豊かな国土や都市を構築するための技術を学ぶ

この学科のポイント！

土木工学(Civil Engineering)は、私たちが安全・安心で幸福（Well-being）な暮らしを営むために不可欠な、都市、道路、橋、堤防、上下水道、鉄道、港などの国土基盤を整備・保全するための幅広い学問です。

土木技術は人類の歴史とともに発展してきました。激甚化する災害への備え、グリーンインフラを活用した都市と自然の調和、ビッグデータの活用や自動運転社会への対応など、新しい技術を取り入れ、50年、100年後の未来を見据えた持続的で豊かな国土や都市の構築を目指しています。

環境・社会・経済の問題が山積した変化の激しい現代社会で、幅広い技術力と多様なアイデアを結びつけ、市民の暮らしを豊かにできる土木技術者が必要とされています。



グリーンインフラ(防災と自然環境再生の両立)



筑後川大橋

私の研究内容

都市環境工学研究室

木下 真尋さん

工学部 土木工学科 4年
広島県広島大学附属福山高等学校出身

大学に入学してから専攻分野を考えたかったためVI群を選びましたが、1年次にインフラ・ものづくり・自然環境の保全など土木に関連する分野に魅力を感じたため、土木工学科を選択しました。座学や実験を通して、私たちの生活がどのようにして支えられているのかを学べることが土木工学科の1番の魅力です。

現在はミクラステリアスハーディと呼ばれる植物プランクトンを主な対象とした、ブルーカーボンに対する植物プランクトンの寄与の推定について研究しています。将来は自然環境を守りつつ、人々の生活を支えられるような仕事ができれば良いと考えています。



JR九州住宅完成見学会

V群

建築学科

Department of Architecture

HPはこちら▶



動画はこちら▶



住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す建築家や技術者、研究者を養成します。

この学科のポイント！

建築学は技術的問題から社会的・文化的问题まで広い領域に関わっており、建築・都市の分野に携わる者には、多様な要素を総合的にまとめる能力に加えて、芸術的な造形能力が求められます。建築学科では、建築・都市の文化と歴史を顧み、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適で健康的な空間をつくる環境技術、丈夫な建物をつくる構造技術、建築の材料と施工技術などについて研究と教育を行っています。

本学科のカリキュラムは、建築学に関わる諸知識を体系的・理論的に学ぶ講義、具体的なデザイン手法を習得する設計演習、専門知識を体得する実験などでバランスよく構成され、国際社会の第一線で活躍する人材を養成します。



酒蔵改修プレゼン



JR九州住宅プレゼン

私の研究内容

建築意匠学研究室

先本 凌さん

人間環境学府 空間システム専攻 修士課程 1年
広島県広島大学付属高等学校出身



私が所属する研究室では、主に竹や木材を構造材として使った、仮設物や小空間のデザインを行い、実際に作ることを通して、地域や社会に新たな空間・環境を作り出しています。竹は軽く、しなやかに曲がるため曲面の構造体なども作ることができます。しかし日本には土砂災害などを誘発する放置された竹林が多くあり、建築素材としての竹の有用性が普及していません。私たちは『小さな空間・環境』から竹の織り成す空間の魅力や素材の価値を発信しています。自然の営みの中から生まれ、自然に融けていくような建築物を手掛ける建築家になることが夢です。



2024 工学部座談会

SPECIAL TALK

若手教員と学生が語る これからの**研究**と**将来**の夢



司会

九州大学大学院工学研究院長
大学院工学部長・工学部長
山本 元司

九州大学工学部で学び、研究者&教員の道へと進んだ若手の先生方と日々それぞれの研究に励んでいる現役の学部生・院生たちが研究の楽しさや九州大学工学部の魅力、将来の夢について語ります。



小山 恵史さん

工学研究院
地球資源システム工学部門 助教

2015年3月 九州大学工学部地球環境工学科卒業
2020年3月 工学府地球資源システム工学専攻博士課程修了



新盛 弘法さん

工学研究院
機械工学部門 助教

2018年3月 九州大学工学部機械航空工学科卒業
2023年3月 工学府機械工学専攻博士課程修了



永井 薫子さん

工学研究院
応用化学部門 助教

2017年3月 九州大学工学部物質科学工学科卒業
2022年3月 工学府化学システム工学専攻博士課程修了



SPECIAL TALK

若手教員と学生が語る
これからの
研究と将来の夢

2024 工学部座談会

人間環境学府空間システム専攻
修士課程1年
樋口 季寿乃さん
広島県広島高等学校出身

工学部土木工学科
4年
山根 春佳さん
長崎県諫早高等学校出身

工学部船舶海洋工学科
4年
肥田 琉之心さん
宮城県宮崎学園高等学校出身

工学府量子物理工学専攻
修士課程2年
浦川 星奈さん
福岡県門司学園高等学校出身

工学部航空宇宙工学科
4年
河野 結衣さん
福岡県福岡雙葉高等学校出身

システム情報科学府情報理工学専攻
修士課程1年
尾山 幹大さん
愛媛県松山南高等学校出身

工学部材料工学科
4年
佐藤 美菜さん
福岡県久留米工業高等専門学校出身

工学府応用化学専攻
修士課程2年
井上 魅紅さん
福岡県北九州工業高等専門学校出身

工学府化学工学専攻
修士課程1年
大元 紳ノ介さん
広島県立府中高等学校出身

工学部融合基礎工学科
4年
池上 悠登さん
岡山県津山高等学校出身

工学府機械工学専攻
修士課程1年
角田 雅樹さん
愛媛県松山南高等学校出身

専攻している学問・研究の 楽しさ・難しさとは何か

山本研究院長：専攻している学問や研究で楽しさを感じる部分、逆に難しさを感じていることがあれば教えてください。

尾山：**スポーツセンシング**の研究をやっています。さまざまなセンサーを使って選手の動きをデータとして取得し、そのデータを処理して選手ごとの特徴を分析します。データを通じて「おそろくこうだろう」という仮説を裏付けることができて、新しい発見があったりするとき大きなやりがいを感じます。例えば、スポーツが得意な人と苦手な人の違いを数値で処理することで、その理由を証明することが可能です。難しさや辛さは、単にデータを取得してそれを機械に入力するだけでは良い結果は得られない点にあります。データをいかに正確に取得するか、またソフトウェアをどのように工夫して使用するかについては、継続的に学び続ける必要があります。

井上：私は多孔性金属錯体と呼ばれる材料を合成し、**量子ビットを使ったセンサー**として機能させることについて研究しています。新しく作った材料がちゃんとセンサーとして機能したり、違う化学物質に対して応答を示してそれが「どうしてなのだろう？」と考えるときが楽しいです。難しさを感じるのは、新しい材料を作るまでに時間がかかること、作っても少量しか取れなくて評価ができないことです。満足のいく量の材料を作るまでが本当に難しく辛いです。

池上：**ダイヤモンドと酸化ガリウムを用いたヘテロpn接合ダイオードの作製**に向けた基盤研究を行っています。類似したテーマで研究を行っている先輩方に教わりながら研究を進めるのはとても楽しいです。研究室では、材料作製から評価、デバイス作製まで一貫して行うところが面白いと思います。しかし私は半導体や結晶構造といった分野に明るくないので、専門用語を理解するのに苦労しています。

河野：私は**宇宙ゴミの除去**に関する研究をしています。宇宙では様々な要因によりデブリが乱回転していますが、それに対して衛星からレーザーを当てることで姿勢を制御して除去しやすい姿勢にするという研究です。企業と共同研究を行っていて実現される可能性が高い点にとっても魅力を感じています。宇宙で起こる現象は想像もしづらいですし、実験もやりづらい面があるので、得られたデータがどのようなことを示しているのか理解しづらいところに難しさを感じています。

肥田：私の研究は**無電源マテリアルハンドリング機構**です。船を造るときに数トンにも及ぶ鋼の板をクレーンの磁石で持ち上げるのですが、クレーンを鋼板に置いたら持ち上げるモードになって、鋼板を目的の場所に置いたら切り離すモードになる、そうしたオンとオフの切り替えを無電源で実現しようというものです。先日、先輩の実験をお手伝いした際に実際の造船所に行くことができました。そこで現場の環境を知ることができまし、造船所で似たような研究をしている人たちに意見をいただいて、研究生活の充実感を得ることができました。逆に思ったように動かなかったり、思った性能が出なかったときに構造を見直すのは大変だなと感じます。

山根：**鉄筋コンクリートの電気防食**について研究しています。鉄筋コンクリートは年数が経過すると中の鉄筋が腐食して建物が崩壊する原因になるので、それを防ぐ1つの方法として鉄筋に電流をかけることで防食するという研究です。コンクリートは腐食するまでかなりの時間を要するので1年や2年で実験結果が出ないことが普通ですからモチベーションの維持は難しいなと思います。研究室の同期や先輩方も同じような境遇で研究を進めているので、お互いにテーマを超えて助け合いながら研究しているの、コミュニケーションや人とのつながりという点には魅力を感じています。

山本研究院長：若手の先生方も楽しさや難しさを教えてください。

永井助教：**体の中で病気の原因となっている化合物に対する薬を作る**研究を行っています。楽しいところは自分が実際に作った化合物が薬として働いてくれたり、どんな構造を持つ化合物を作れば薬として機能してくれるのかを考えることです。化学をどんどん突き詰めることで生命の中で起こっている現象や、生命とは何かを分子レベルで理解できる点にもおもしろさを感じています。化学の面で辛さを感じることはあまりありませんが、自分が発見した新しいことを英語で世界に発表する必要があります。私は高校時代から英語が得意ではなかったので、もっと気合を入れて英語をがんばっておけば良かったなと思います。

新盛助教：僕の研究は**人工関節**です。現在、人工関節の主な素材はポリエチレンや金属のセラミックです。体の中に入れるものなので、自転車のチェーンのように油をさせばいいというものではありません。体の中ではタンパク質が悪さすることが多いのでその辺を突き詰める

研究をしてきました。他大学や企業とも共同研究をしていて、今のスタンダードであるポリエチレンを超えるものに挑戦してきましたし、関節にある軟骨という柔らかい組織を模倣できないかということも進めてきました。そういう中で、タンパク質中で試験して「この辺が共通しているな」とかを見つけるのが楽しさだったりしますね。難しいと思うのは、やはり結果が出ないときです。それと、やりたいことが複数あって時間が足りないと思う点ですね。共同研究では、すぐに製品になるものもあれば、少し遅れて製品化されるものもあり、それまで秘密にしておかなければいけない点にもどかしさを感じることがあります。

小山助教：私がやっているのは鉱石から金属を取り出す研究ですが、**微生物に鉱物を分解してもらうバイオプロセス**という研究になります。勝手に人類が微生物を利用し始めたというわけではなく、実際に鉱山では雨が降り、それが浸透して中で自然に微生物が増えて金属を含む水が出てくるという現象が起きています。それを研究に落とし込んでいるというわけです。研究のおもしろさは、例えばそこにいる微生物と全然違う微生物を加えてみると予想もしない現象が起きたりすることですね。逆に難しいことは、小さなスケールで試験をして良い結果が出ても、それを現場でスケールアップするとまったくうまくいかなかったりするところですね。

九州大学工学部は こんなところが素晴らしい

山本研究院長：次に九州大学で学んでいて「こういう点が良いな」と思える点を挙げていただければと思います。

佐藤：高専で材料工学を学んでいて、講義や実験を通して**鉄鋼材料**に興味をもちました。鉄鋼材料の研究を続けたいと思ったときに、鉄鋼材料を対象にした研究室が複数あることと研究設備が充実していることに魅力を感じて九州大学への編入を決めました。研究室に配属されて4月から実験が始まったのですが、試料の作成から鉄鋼のミクロ組織の観察、分析まで一連の流れを自分で大学内の装置を使ってできることがとても良いなと思います。特に超顕微解析研究センターにある装置を初めて見たときは感動しました。

大元：高校の時から化学も物理も両方やりた、どちらも発展させた内容で学びたいと思っ

て物質科学工学科に入りました。九州大学の良さは、やはり研究設備にあると思います。卒論の際に中央分析センターでX線CT装置を使わせていただきましたが、他の大学であれば外部委託するようなことを歩いてすぐに行ける場所で自分の手で測定できるのは大きなメリットだと思います。

角田：教員や職員の皆さんが親切で実験装置の改善も簡単にさせていただける環境は素晴らしいと思います。研究で行う流体のシミュレーションでもワークステーションで比較的自由に装置を使わせていただけるのもありがたいです。

浦川：中学時代の社会科見学でバスに乗って九州大学にきました。大きくてきれいなキャンパスだなと思って「いつかこういうキャンパスに通えたらいいな」と思ったのが最初です。高校生の時に大学のことを調べるようになりましたが、原子力の分野で第一人者とされる先生がいらっしゃるということで九州大学に進みました。

必要な設備が自分の研究室になくても、何かしの研究施設にあるので、自分で研究ができるのが九州大学工学部の強みだと思います。私が研究で使用するのは、いろいろな制約があるウランという特殊な材料ですが、他の大学ではできないような実験も九州大学でならできるのが良いと思います。

樋口：九州大学を選んだ理由はシンプルで「工学系に強い」と聞いたからです。九州大学に入って気づいた良いところは、学生の身分でありながらプロジェクトを通して実際に建築物を建てることができることです。今、私がやっている糸島の「またいちの塩」という製塩所のプロジェクトでは、太陽熱を集める集熱塔を建てているところです。CGでも模型でもなく、実際に社会の中で、集熱塔が建っていくのは本当に感動します。

山本研究院長：若手の先生方は他の大学のこともご存知だと思いますので、比較する形でお話いただければと思います。

永井助教：私は九州大学の他は産業技術総合研究所と東京大学での研究経験がありますが、九州大学は教育がとても手厚いと感じています。先生方の指導も熱心で学生に向けて使う時間が多いと思います。研究室の先輩方もスライドを添削してくれたり実験で困ったときに相談に乗ってくれたり、教え合う良い循環ができてるように思います。

新盛助教：1ヵ月ほどインド工科大学に研究留学した経験があります。インド工科大学は世界

の大学ランキングでも5位くらいの大学ですが、施設や設備に関しては九州大学の方が良いと思います。国際的な面に力を入れているのも強みだと思います。

小山助教：私は九州大学の他に関東の大学にいた経験があり、そこ比べるとやはり施設・設備の充実度は高いです。その理由としては、そもそも土地が広いということが挙げられます。関東では限られた敷地内に可能な限り詰め込む形で研究室を建てることになりますが、九州大学は広大な山を切り開いているので、施設を作る土地には余裕があります。もう1つ、国際性の高さも大きな魅力です。資源の研究は、世界を舞台にすることが多いのですが、九州大学には逆に世界中から研究者が集まります。同じ研究室にいた留学生が、今は世界各地に散らばって先生として活躍しています。それは私が国際的に連携を取ろうとしたときにオブションがいっぱいあるということで、大きなメリットだと思います。

先生たちの将来の夢と 高校生へのメッセージ

山本研究院長：それでは先生方の将来の夢をお聞かせください。

永井助教：これから先も私自身いろいろな選択があると思いますが、この選択が良かったと思えるような努力を続けていきたいと思います。教員としては、学生の皆さんが卒業する際に「楽しかった」という気持ちを維持できるようにサポートしていきたいです。

新盛助教：大学の研究は、1つの知識を円とするとそれを広げていく作業だと思います。工学部はエンジニアリングでその研究を実用化するという意味において、円ではなく立体的な球として3次的に広げていく作業になると思



← 学生さんから先生方への質問など、まだまだ興味深い内容があります!気になる全内容は、工学部ホームページに掲載しています。(過去の座談会記事もあります)

工学部のことがもっと知りたい方は
こちらをチェック!



受験生向け
特設サイト➡



YouTube
九大工学部チャンネル➡



九大工学部
Instagram➡



主な就職先リスト

電気情報工学科		
学部卒業後の主な就職先 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 ファナック 富士通 東京エレクトロン ソニーLSIデザイン 情報通信業 アドソル日進 ソフトバンク 楽天 オリンパス 楽天モバイル アマゾンウェブサービスジャパン NTTコムウェア 輸送機械器具製造業 トヨタ自動車 日産自動車 川崎重工業 マツダ ボッシュ 鉄鋼業 JFEスチール 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 関西電力 サービス業 アクセンチュア サイバーエージェント ベネッセコーポレーション	修士課程修了後の主な就職先 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 ソニー 村田製作所 NEC 富士通 日立製作所 三菱電機 キオクシア 東京エレクトロン 安川電機 ウエスタンデジタル 日鉄ソリューションズ シャープ マイクロンメモリジャパン 情報通信業 ソフトバンク NTTTコム KDDI ヤフー 野村総合研究所 楽天グループ NTTデータ YE DIGITAL 輸送機械器具製造業 トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 運輸業 JRE東海 サービス業 サイバーエージェント	博士課程修了後の主な就職先 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 日立製作所 ソニーLSIデザイン キオクシア 東京エレクトロン 情報通信業 KDDI KDDI総合研究所 チームAIBOD 富士通研究所 SEC Research Institute シャープ とめ研究所 教育・学習支援・医療・福祉・複合サービス業 九州大学ほか大学法人 大分工業高等専門学校 日本の大学 日本学術振興会 建設業 三菱日立パワーシステムズ 西日本プラント工業 輸送機械器具製造業 モリタホールディングス 食品・飲料・たばこ・飼料製造業 森永乳業

材料工学科		
学部卒業後の主な就職先 鉄鋼業・非鉄金属・素材 山陽特殊製鋼 日本製鋼所 日本タングステン 輸送用機械器具 トヨタ自動車 スズキ 電気・情報通信機械器具 京セラ 運輸業 ANA 電気・ガス・熱供給・水道業 中部電力 高等教育機関・公務 公務員	三井金属鉱業 AGC 愛知製鋼 日本精工 輸送用機械器具 日産自動車 本田技研工業 トヨタ自動車 デンソー ダイハツ 電気・情報通信機械器具 キャノン 三菱電機 パナソニック 日立製作所 東京エレクトロン ソニー 京セラ SUMCO 汎用・生産用・業務用機器 凸版印刷 三菱マテリアル 村田製作所 キオクシア 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力	大同特殊鋼 山陽特殊製鋼 日本製鉄 JFEスチール 日本精工 住友電気工業 住友金属鉱山 SUMCO 電気・情報通信機械器具 日立製作所 ミネベアミツミ TDK ウエスタンデジタル 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 日本原子力機構 汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業
修士課程修了後の主な就職先 鉄鋼業・非鉄金属・素材 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 大同特殊鋼 プロテリアル 日鉄ステンレス 日本タングステン 山陽特殊製鋼 住友電気工業 TOTO UACJ JX金属 住友電気工業	博士課程修了後の主な就職先 鉄鋼業・非鉄金属・素材 神戸製鋼所	

応用化学科		
学部卒業後の主な就職先 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 アドバンテック 建設業 鴻池組 卸売業・小売業 双日 高等教育機関・公務 公務員	修士課程修了後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 三井化学 三菱ケミカル 住友化学 花王 旭化成 東ソー 積水化学工業 資生堂 三菱ガス化学 第一ベークライト AGC ニプロ クラレ 武田薬品工業 久光製薬 アステラス製薬 小林製薬 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 三菱マテリアル 日東電工 東レ ADEKA 電気・情報通信機械器具 パナソニック 京セラ キャノン 食品・飲料製造業 味の素 ヤクルト	博士課程修了後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 三井化学 三菱ケミカル 富士フィルム 旭化成 中外製薬 アステラス製薬 第一三共 三菱ガス化学 積水化学工業 出光興産 JSR カネカ 日産化学 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本ゼオン 住友金属鉱山 電気・情報通信機械器具 シスメックス 食品・飲料製造業 JT 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 海外の大学

化学工学科		
学部卒業後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 小林製薬 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 食品・飲料製造業 久原本家 高等教育機関・公務 公務員	修士課程修了後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 旭化成 AGC アステラス製薬 出光興産 宇部興産 花王 カネカ JSR 昭和電工 日鉄ケミカル&マテリアル 住友化学 住友ベークライト 中外製薬 東ソー 富士フィルム 三井化学 三菱ケミカル 日本触媒 クラレ ニプロ 日本ゼオン 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本製鉄 東レ 電気・情報通信機械器具 パナソニック 汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業 建設業 日揮 東洋エンジニアリング 食品・飲料製造業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 学術研究・専門・技術サービス 化学及血清療法研究所	博士課程修了後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 味の素 アステラス製薬 大塚製薬 杏林製薬 武田薬品工業 中外製薬 ニプロ 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 電気・情報通信機械器具 パナソニック

融合基礎工学科		
学部卒業後の主な就職先 令和3年度新設学科	ヤマハ発動機 デンソー 豊田自動織機 クボタ 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 TOTO 古河電気工業 三井金属鉱業 住友金属鉱山 汎用・生産用・業務用機器 川崎重工 三菱重工業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 東京電力 ダイキン工業 日立製作所 パナソニックエナジー NEC 東京エレクトロン SUMCO 輸送用機械器具 トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 トヨタ自動車九州 マツダ	三井化学 出光興産 電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 パナソニック 富士ゼロックス セイコーエプソン ニコン 東芝 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 三菱マテリアル 住友金属鉱山 三井金属鉱業 汎用・生産用・業務用機器 電気・ガス・熱供給・水道業 日立ハイテック 情報通信業 NTTTコム 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 物質材料機構(NIMS) 福岡県工業技術センター 有明工業高等専門学校 日本学術振興会特別研究員(PD) 国内の大学 海外の大学
	博士課程修了後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 旭化成 AGC 住友化学 三菱化学	

機械工学科		
学部卒業後の主な就職先 化学工業・石油・石炭製品 三井化学 三菱ケミカル 富士フィルム 旭化成 中外製薬 アステラス製薬 第一三共 三菱ガス化学 積水化学工業 出光興産 JSR カネカ 日産化学 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本ゼオン 住友金属鉱山 電気・情報通信機械器具 シスメックス 食品・飲料製造業 JT 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 海外の大学	川崎重工業 小松製作所 三浦工業 三菱重工業 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 JFEスチール TOTO 日本精工 日本製鉄 電気・情報通信機械器具 京セラ ダイキン工業 東芝 パナソニック 日立製作所 三菱電機 村田製作所 安川電機 電気・ガス・熱供給・水道業 JXTGエネルギー 日本精工 九州電力 東京ガス 電子部品・デバイス・電子回路製造業 東京エレクトロン 建設業 日揮ホールディングス	博士課程修了後の主な就職先 汎用・生産用・業務用機器 IH-I 川崎重工業 西島製作所 三浦工業 三菱重工業 三菱日立パワーシステムズ 輸送用機械器具 Hyundai Steel デンソー トヨタ自動車 豊田中央研究所 日産自動車 電気・情報通信機械器具 キャノンメディカルシステムズ 東芝 ニコン 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本製鉄 山陽特殊製鋼 電子部品・デバイス・電子回路製造業 宇都宮大学 九州大学ほか国立大学法人 産業技術総合研究所 私立大学

航空宇宙工学科		
学部卒業後の主な就職先 運輸業 JAL ANA トヨタ自動車 ホンダ 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業	修士課程修了後の主な就職先 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IH-I SUBARU 住友精密工業 輸送用機械器具 トヨタ 日産 ホンダ マツダ 三菱自動車 デンソー 電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 東芝 キャノン 富士通 NEC 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構(JAXA)	博士課程修了後の主な就職先 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IH-I デンソー 電気・情報通信機械器具 日立製作所 東芝 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

量子物理工学科		
学部卒業後の主な就職先 電気・情報通信機械器具 日立製作所 京セラ 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 TOTO 三井金属鉱業 運輸業 西日本鉄道 建設業 JFEエンジニアリング 輸送用機械器具 マツダ 電気・ガス・熱供給・水道業 日本原燃 原子燃料工業 運輸業 東海旅客鉄道 全日本空輸 九州電力 高等教育機関・公務・学術研究 原子力規制庁	サルディング リンクコポレイトコミュニケーションズ シヨンス 東京海上日動システムズ 日鉄ソリューションズ アクセンチュア 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 中国電力 関西電力 中部電力 東京電力 日本原燃 原子燃料工業 運輸業 東海旅客鉄道 全日本空輸 化学工業・石油・石炭製品 旭化成 JXTGエネルギー 東ソー 高等教育機関・公務・学術研究 日本原子力研究開発機構 原子力規制庁 輸送用機械器具 トヨタ自動車 デンソー 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 情報通信業	西日本電信電話 カンケンテクノ 卸売業 丸紅 博士課程修了後の主な就職先 学術研究・専門・技術サービス 量子科学技術研究開発機構 日本原子力研究開発機構 放射線医学総合研究所 核融合科学研究所 国立天文台 原子力エンジニアリング 電気・情報通信機械器具 富士電機 東芝 リガク 古河電池 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 原子燃料工業 三菱原子燃料 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 海外の大学 化学工業・石油・石炭製品 旭化成

船舶海洋工学科		
学部卒業後の主な就職先 輸送用機械器具 大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド 今治造船 名村造船所 尾道造船 福岡造船 トヨタ自動車 ヤマハ発動機 クボタ 電気・情報通信機械器具 日立製作所 学術研究・専門・技術サービス 関西設計 高等教育機関・公務 県庁 市役所 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力	住友重機械マリンエンジニアリング 新栄島どつく 三菱造船 トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 ヤマハ発動機 豊田自動織機 デンソー 運輸業 川崎汽船 日本郵船 商船三井 建設業 戸田建設 清水建設 二井海洋開発 日揮 東洋エンジニアリング 五洋建設 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 JFEスチール 日本製鉄 神戸製鋼所 電気・情報通信機械器具 日立製作所 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 IH-I	学術研究・専門・技術サービス 日本海事協会 高等教育機関・公務 防衛装備庁 海上自衛隊幹部候補生学校 国土地理院 博士課程修了後の主な就職先 輸送用機械器具 ジャパン マリンユナイテッド 三井E&Sマントナリー 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 JFEスチール 日本製鉄 学術研究・専門・技術サービス 日本海事協会 海上技術安全研究所 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 高等教育機関・公務・学術研究 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 日本学術振興会特別研究員(PD) 海外の大学

地球資源システム工学科		
学部卒業後の主な就職先 電気・ガス・熱供給・水道業 石油資源開発 INPEX コスモエネルギーホールディングス 九州電力 卸売業 伊藤忠商事 高等教育機関・公務 県庁 市役所 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 JX金属 三菱マテリアル	コスモエネルギーホールディングス JERA JX石油開発 シュルンベルジェ 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 三菱マテリアル 住友金属鉱山 JX金属 JFEミネラル DOWAホールディングス 太平洋セメント 三菱商事 住友商事 丸紅 三井物産 伊藤忠商事 全日本空輸 日本航空 日本郵船 トヨタ自動車九州 建設業 千代田化工建設 清水建設 日揮ホールディングス	輸送用機械器具 日立造船 日立建機 汎用・生産用・業務用機械器具 小松製作所 学術研究・専門・技術サービス アクセンチュア 博士課程修了後の主な就職先 学術研究・専門・技術サービス 産業技術総合研究所 電力中央研究所 自然エネルギー財団 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 水ing 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 福岡県保健環境研究所 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日鉄鉱業 カーボンフロンティア 機構(JCOAL)

土木工学科		
学部卒業後の主な就職先 建設業 鹿島建設 大林組 清水建設 大成建設 前田建設工業 高等教育機関・公務 国土交通省 環境省 農林水産省 県庁 市役所 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力	修士課程修了後の主な就職先 建設業 鹿島建設 大林組 清水建設 大成建設 前田建設工業 横河ブリッジ JFEエンジニアリング 高等教育機関・公務 国土交通省 環境省 農林水産省 県庁 市役所 学術研究・専門・技術サービス 日本工営 建設技術研究所 オリエンタルコンサルタンツ 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 日本製鉄 三菱マテリアル 電気・ガス・熱供給・水道業 電力各社 西部ガス 情報通信業 NTT西日本 運輸業 JR各社 高速道路各社(NEXCOなど) 汎用・生産用・業務用機械器具 IH-I	博士課程修了後の主な就職先 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 海外の大学 電気・情報通信機械器具 日立製作所 コニカミノルタ

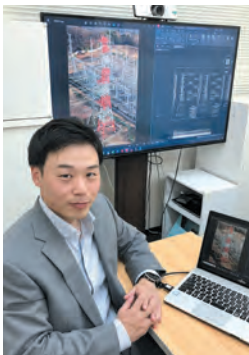
建築学科		
学部卒業後の主な就職先 高等教育機関・公務 航空自衛隊 都庁 市役所 建設業 オープンハウス 鹿島建設 建築設備設計研究所 積水ハウス 大和ハウス工業 大和リース VUILD 塩浜工業 異設計コンサルタント 不動産業 福岡地所 フーチャースホールディングス 情報通信業 サイバーエージェント 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業 Primetals Technologies Japan 卸売業・小売業 ニトリ 日本ライフサポート 専門・技術サービス業 チェンジ 電気・ガス・熱供給・水道業	九州電力 修士課程修了後の主な就職先 建設業 大林組 鹿島建設 清水建設 大成建設 竹中工務店 積水ハウス ミサワホーム 日本設計 山下設計 日建設計 森村設計 東畑建設事務所 不動産業 NTT都市開発 東京不動産 野村不動産 三井不動産 情報通信業 インテック KDDI LINEヤフーコミュニケーションズ 野村総合研究所 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業 日鐵建材	YKK AP 電気機械器具製造業 三菱電機 輸送機械器具製造業 本田技研工業 専門・技術サービス業 日本工営 乃村工藝社 ランドブレイン 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 東京電力 卸売業 伊藤忠商事 運輸業 九州旅客鉄道 西日本鉄道 博士課程修了後の主な就職先 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 外国の大学 専門・技術サービス業 自営業

境 小牧さん
ジャパン マリンユナイテッド株式会社
設計本部 有明設計部 構造設計グループ 詳細設計チーム
(工学府船舶海洋システム工学専攻2006年3月修士課程修了 工学部地球環境工学科2004年3月卒業)



有明事業所では、原油を運ぶタンカー、鉱石等を運ぶバルクキャリア、コンテナを運ぶコンテナ船等、貨物を運ぶ船を建造しています。私は構造設計の中の詳細設計という部署に所属しています。
構造設計では強度計算を基に、部材の配置や寸法を決定し、その情報を織り込んだ図面を作成します。更にその図面を基に、部品単位の情報へ展開していきます。学生時代の学びが業務に直結していますが、特に構造力学は、もっと真面目に勉強しておけば良かったと思うほど生かされています。

井上 翔太さん
電源開発送変電ネットワーク株式会社
送電部 送電建設グループ
(システム情報科学府電気電子工学専攻 2017年3月修士課程修了
工学部電気情報工学科 2015年3月卒業)



電源開発株式会社 (J-POWER) に入社後、電力システム改革に伴い分社化された電源開発送変電ネットワークに出向して、主に送電線の新設・建替工事に伴う、鉄塔の設計、工事の管理を担当しています。自身が設計した鉄塔が完成して形になること、今後50年以上はその地に残り電気を送り続けるという点が魅力です。現在の仕事に大学で学ぶ電気の知識のひとつひとつが役立つだけでなく、国際的な学会に参加する際には大学院で培う英語の論文を読み書きする能力や発表する能力がとても有用です。

高木 聖也さん
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター 燃料高温科学研究グループ
(工学府 エネルギー・量子工学専攻 2016年3月博士課程修了 工学部エネルギー科学科 2011年3月中退)



放射性廃棄物減容を目的とした次世代の原子力燃料の製造技術開発、放射線照射による燃料への影響について研究しています。これまで文部科学省の受託研究やメーカーから受託して行う研究開発に参加し、現在は九州大学やフランス原子力庁との共同研究も計画しています。研究開発の内容自体はまだ社会貢献を実感できる段階ではありませんが、人類の課題である放射性廃棄物に係る研究開発に携われていることにやりがいを感じています。

井上 雄太さん
全日本空輸株式会社
(工学府物質プロセス工学専攻2022年3月修士課程修了 工学部物質科学工学科2020年3月卒業)



ANAの国内線・国際線で客室乗務員として働いています。最大の任務である保安業務をベースに、食事や飲み物のご提供、機内販売、到着地のご案内など業務内容は多岐にわたり、瞬時の判断力や洞察力、想像力が求められます。一番のやりがいを感じるのは、お客様から「ありがとう」と言葉をいただくときです。九大在籍時、私の研究室には留学生も多く英語が共通言語でした。そのような語学力や物事を正確に伝える力は、CAの仕事にとっても生かされています。

川頭 賢吾さん
Anand Devarajan Architecture Inc.
(Texas A&M University : Architecture専攻2019年5月修士課程修了 工学部建築学科2017年3月卒業)



LAを拠点とし、北中米や中国で建築意匠設計を行っており、プロジェクトは個人・集合住宅、バーやワイナリー、美術館のプログラム計画など多岐に渡ります。古代・中世の歴史的建造物やアート作品から受けたインスピレーションを基に、プランニング、建築模型、3Dデジタルモデルを製作します。
常に時代に即した技術を設計に活用するべく、AIの建築設計への応用や3Dプリンターを使った模型製作を積極的に行っています。ユニークかつ恒久的に使われる建築の設計を重視しており、デザインが成長を遂げる過程にやりがいを感じます。

馬崎 夏実さん
川崎重工工業株式会社
航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙技術本部 システム技術総括部
機体装備システム技術部 操縦・降着システム技術課
(兼) 動力装備システム技術部 推進・燃料システム技術課
(工学府機械工学専攻2021年3月修士課程修了 工学部機械航空工学科2019年3月卒業)



ブルーインパルスで知られるT-4中等練習機という自衛隊向けの航空機の維持設計(メンテナンスや改良のための設計)を行い、実際の航空機に触れて航空機の仕組みや基礎知識を学びながら、水素航空機(液体水素を燃料とする航空機)の研究開発を行っています。
水素航空機は従来の技術が通用しないことも多いですが、困難な課題に挑戦し乗り越える度に技術者としての成長とやりがいを感じています。水素航空機の実現を通して、地球の未来に貢献していきたいです。

Circle【創造工房】

PLANET-Q

「放課後は、宇宙開発を。」をモットーに、宇宙開発に関する技術開発や教育活動を行っています。プロジェクトには安価かつ安全性の高いハイブリッドロケット、成層圏でミッションを行うスペースバルーン、自律制御で走行するCanSat、自由度が高いモデルロケットなどがあり、学年や学部を枠を超え一丸となって活動しています。



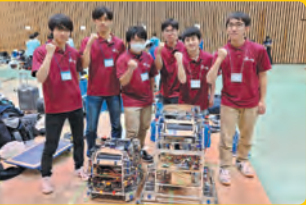
動画はコチラ



- 2023年8月 能代宇宙イベント 三菱重工業賞 最優秀賞とAutodesk賞 最優秀賞受賞
- 2024年3月 種子島ロケットコンテスト 高度部門 三菱重工業賞受賞
- 2024年3月 モンゴル放球実験 スペースバルーンの放球・回収に成功

ロボコンチームKURT

九州大学の有志学生によるロボット競技チームです。メインとなる活動はロボットの制作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。例年5月から6月に開催される「NHK学生ロボコン」への出場をはじめ、夏休みには「九州夏ロボコン」を主催。秋の「サイエンスワールド」への出展も含め、メンバー一丸でロボットの制作を行います。



- 2023年6月 NHK学生ロボコン2023 本戦出場
- 2023年9月 九州夏ロボコン2023 運営及び出場
- 2023年9月 第13回キャチロボバトルコンテスト2023 優勝

Study abroad【工学部生のための留学プログラム】

ELEP(イーレップ): Engineering Leaders English Program

米国カリフォルニア州「サンノゼ州立大学 I-Gateways」で実施される起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義およびスタンフォード大学やハイテク企業(Google・Apple等)へのフィールドトリップに参加する工学系学生向けの1~2週間の短期留学プログラムです。アントレプレナーシップ(起業家精神)の実態に触れ、イノベーションが起こる仕組みをシリコンバレーで学ぶことができます。留学後には九州大学・伊都キャンパスにて仮想起業ワークショップも実施します。



Q²PEC (キューベック): Qshu-Queensland Program for English Communication

オーストラリア、ブリスベンにあるクイーンズランド大学に附属しているUQ-Collegeにおいて世界各国からの留学生に混じって英語研修、ならびにクイーンズランド大学の工学系特別講義や研究室訪問を体験できる5週間の短期プログラムです。実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学位留学に向けたモチベーションアップも目指せます。



鳥人間チーム

人力飛行機で飛距離を競う「鳥人間コンテスト」での優勝を狙い、滑空機を製作しています。空力・構造の設計や桁(スパー)焼き作業など、40年以上続く伝統の技術と新しいアイデアを融合させながら、日々創意工夫を凝らしつつ活動しています。NC熱線やフライスといった加工機を自在に使いこなし、自らの手で創作した機体のフライトは、製作者にとって生涯忘れ得ぬ経験となるはずです。



動画はコチラ



- 鳥人間コンテスト2021 第6位
- 鳥人間コンテスト2022 第9位
- 鳥人間コンテスト2023第15位

ヒューマノイドプロジェクト

二足歩行ロボット格闘競技大会であるROBO-ONEでの優勝を目指して日々活動に取り組んでいます。基本的にロボットの設計・加工・制御を一から行っており、ロボットの構造、設計、回路、プログラミングといった様々な分野の知識を身につけることができるのが特徴です。普段の大学生活では決してできない貴重な体験ができるサークルです。



動画はコチラ



- 2023年9月 第42回ROBO-ONE ベスト8 ミスミ賞 人工知能ロボット賞受賞
- 2024年2月 第41回ヒューマノイドカップ Light級優勝、準優勝 ヘビー級優勝
- 2024年3月 第26回ROBO-ONE Light ベスト8

ELEP留学体験談

工学部 II群 2年
済々養高等学校(熊本県)出身
緒方 翔平さん 留学先:サンノゼ州立大学(アメリカ)
「海外」と「起業」が心にちらつく

ELEPの報告会に参加して感銘を受け、帰ってすぐ親に「留学に行かせてほしい」と電話を掛けました。印象に残っているのは最初に英語で注文した時のこと。自分の英語が他人に伝わり、コミュニケーションが取れるということに感動し、英語を勉強するモチベーションにもなりました。留学体験は私の心の持ち方を変えました。今までは、みんなが修士課程まで行くからなんとなく修士課程まで行って、有名な大企業に就職しようといったものでした。しかし留学後は「海外」と「起業」というものが私の心の中でちらついていました。留学体験を経て「いろいろな考え方をする人がいて知らないことがたくさんある」ということを物事の前提として考えられるようになりました。

Q²PEC留学体験談

工学部 応用化学科 分子生命工学コース3年
ノートルダム清心高等学校(広島県)出身
庄垣内 結さん
留学先:クイーンズランド大学附属語学学校ICTE-UQ(オーストラリア)
国際交流への意識がより高まった

工学部だけの短期留学があると知り興味がわきました。最も印象に残ったことはプログラムの1つとして行ったソーラーファームです。雑草などが生えて太陽光の邪魔にならないように、ソーラーファーム内でヤギや羊を多く飼っていることが、ありそうでなかったアイディアとしてとても面白かったです。今回の留学を経て、国際交流への意識がより高まったと感じています。英語だけの生活を、さまざまなバックグラウンドをもつ人と関わることで、もっと英語がうまくなっていろいろな人と関わりたいと感じるようになりましたし、帰国後は大学内で留学生チューターをするなど、ハードルが下がったことにより英語でのコミュニケーションに対するモチベーションが上がりました。



ヤシの木ブランコ



Beach Cafe SUNSET

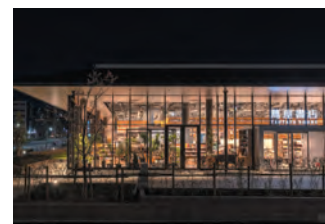


ハイドアウトビーチ(西浦)

人気の糸島エリアは
自然の身近さが嬉しいポイント。



いとLab+



九大伊都蔦屋書店



ITO GRAND



工学部がある九州大学伊都キャンパスは福岡市西区の糸島エリアに位置し、豊かな自然に囲まれた福岡でも有数の注目スポット。野北や二見ヶ浦は昔から海水浴場として知られてきましたが、今ではおしゃれなレストランやカフェが増え、SNS映えするリゾート地区として多くの若者たちが集まります。

伊都キャンパスまでは福岡市中心部の天神から市営地下鉄（姪浜駅からはJR筑肥線）、昭和バスを利用して約45分。JR筑肥線の九大学研都市駅周辺は大型ショッピングモールや有名チェーン店、学生向けのマンションが続々と誕生。キャンパス周辺の街は今もなお発展を続けています。



入試情報

2025年度の選抜方法

総合型選抜：書類審査、大学入学共通テストと面接（実技）等
志望の動機や高校時代の活動および基礎学力を総合的に評価して選抜します。総合型選抜は学科ごとに行います。

一般選抜（前期・後期）：大学入学共通テストと個別学力検査
学科群（Ⅰ～Ⅴ群）ごとの選抜

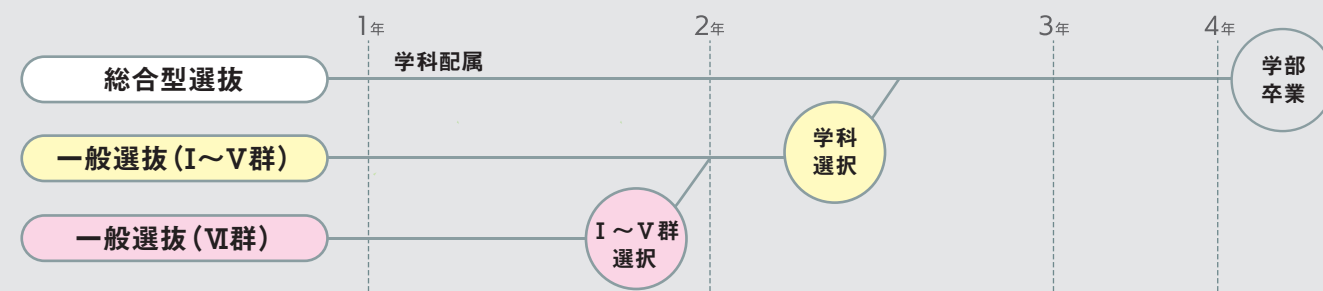
Ⅰ～Ⅴ群

専門教育で必要とされる基礎科目が共通である学科を束ねた群ごとに募集・選抜します。群を構成する学科への配属は、2年前期終了時に行います。

Ⅵ群

入学時には学科群が未定の学部一括として募集・選抜します。1年終了時に学科群（Ⅰ～Ⅴ群）に配属し、2年前期終了時に学科を決定します。

入学後の学科決定の流れ



※ 学科群や学科の配属は、「志望」や「大学での授業の成績」等に基づいて行われます。

受験生サイト



工学部サイト

詳しくはココ➡



受験生向け特設サイト



座談会

P.18～20の座談会の全内容はここから確認できます。過去の座談会記事もあります。

学科診断

あなたにピッタリの学科はどれ？“好き”を見つける九大工学部の特設サイト

学科群紹介

Ⅰ群からⅥ群までの学科群について、どのような学科があってどのようなことを学べるのかを詳しく紹介。群ごとに在学中の先輩のレポート動画もあります。

入試情報

九州大学の入試・入学に関する最新情報を掲載しています。インターネット出願はもちろんのこと、募集要項や入学選抜概要、各種入試の詳細など、入試に関する情報はすべてココから確認することができます。

受験に関するお問い合わせ

九州大学工学部等教務課教務係

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地 Tel：092-802-2723／092-802-2724 E-mail：koggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp

Facts and Figures of School of Engineering, Kyushu University

(As of May 1, 2024)

The number of students



The number of students

3,426

The number of female students 385

The number of University students 11,711

Number of faculty members



279

Total number of Kyushu University faculty members

2,452



85.4%

enters graduate schools.

Rate of employment

Graduate School of Engineering



98.0%

Rate of employment

Graduate School of Information Science and Electrical Engineering



95.4%

Ito Campus site area

FUKUOKA PayPay Dome



YAHUOKU! DOME = 69,130m²

Area of Ito Campus

2,717,130m²

The largest Campus in Japan

Total area(including affiliated facilities)

75.81million m²



Inbound

Number of international students

137

Number of countries/regions of international students

26



Outbound

Number of students studying abroad

2023

150



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部 CAMPUS GUIDE 2024

発行 / 令和6年7月
編集・発行者 / 九州大学工学部



伊都キャンパス

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL 092-802-2728

筑紫キャンパス

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1